

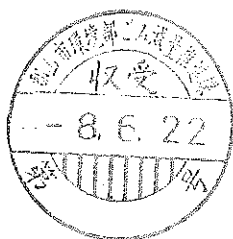
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月19日

郡山市長



提出者

住所 福島県郡山市西田町鬼生田字杉内384番地

氏名

有限会社 小林土建

代表取締役 小林富之

電話番号

024-954-6866

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 小林土建
事業場の所在地	福島県郡山市西田町鬼生田字杉内384番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般建設業
② 事業の規模	売上額 130,000,000万円
③ 従業員数	正社員6人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 木くず→中間処理施設にて破碎再資源化又は焼却処分 がれき類→中間処理施設にて破碎し再生利用又は最終処分施設にて埋立 廃プラスチック類→再資源化又は焼却、埋立 ガラスくず陶磁器屑→最終処分施設にて埋立 石綿含有産廃物→最終処分施設にて埋立 金属屑→圧縮切断 再資源化 紙くず、繊維屑→中間処理施設にて再資源化又は焼却

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長→産業廃棄物担当者→各現場責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

※別紙1の通り

① 現状

【前年度（令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類

がれき類

木くず

排 出 量

936.56 t

210.64 t

(これまでに実施した取組)

分別を徹底し再資源化を実施している処分施設への搬入。

② 計画

【目標】※別紙1のとおり

産業廃棄物の種類

がれき類

木くず

排 出 量

800t

170 t

(今後実施する予定の取組)

更に分別を徹底し、再資源化施設への搬入を増加する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

分別作業を徹底し、産業廃棄物の適正処分。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

更に分別作業を徹底し、適正処理に努める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ※上記以外の産業廃棄物についても0 t ※自ら再生利用を行う予定なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ※実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ※上記以外の産業廃棄物についても0 t		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ※今のところ実施予定は無いが、機会があれば行いたい。 中間処理 破砕機（移動式）保有しているため。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） <u>上記以外の産業廃棄物についても0 t</u> <u>※自ら埋立処分、海洋投入処分は行わない。</u>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） <u>※実施予定なし</u>		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

※別紙2のとおり

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	936.56 t	210.64 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	907.91 t	193.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） <u>※更なる分別作業を行い再資源化施設への搬入を強化する。</u> <u>委託先とも連携し適正処分に努める。</u>		

(第5面)

② 計画	【目標】※別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	800 t	170 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	770 t	160 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) <u>※更なる分別作業を行い再資源化施設への搬入を強化する。</u> <u>委託先とも連携し適正処分に努める。</u>		
※事務処理欄			